地域包括ケアの地区展開　令和８年度　松原　地区アセスメント

人口

面積（ｋ㎡）	人口（人）	人口密度（人／ｋ㎡）	高齢者人口（人）	高齢化率（%）	年少人口（人）	年少人口率（%）	世帯数（世帯）	平均世帯人数（人）	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持者		障害サービス受給者	
										高齢単身者世帯数	高齢者のみ世帯数	その他高齢者がいる世帯	世帯率（%）	内高齢単身・高のみ世帯率	認定者数（人）	認定率（%）	身体障害者手帳	愛の手帳	自立支援給付	障害児通所給付
1.502	30,410	20,246	5,955	19.58%	2,606	8.57%	18,864	1.61	4,388	2,101	1,107	1,180	23.26%	17.01%	1,310	22.00%	530	143	210	93

傾向

人口密度は区全体と比べて高い割合である。同様に、高齢化率（６５歳以上）は低い。年少人口率（１５歳未満）は低いが、近年は微増傾向である。

地域活動

町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数					社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録数	生活支援体制整備事業　協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数		主な活動団体とその取組内容
			サロン	子育てサロン	ミニデイ								
4	9,415	39	33	1	5		6	17	107	5	5		地域活動は盛んで、その活動は、体操、太極拳、フラダンス、麻雀、コーラス、料理など多種多様である。 参加者は圧倒的に女性が多いが、男の料理教室など参加者を男性に限定したサロンもある。

生活支援

地域密着型サービス							ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム		障害者・児　通所系・共同生活援助等
定期巡回･随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム						うち、特定施設入居者生活介護	
1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	障害児通所支援事業所が５か所ある。

障害相談支援機関・相談支援事業所

障害全般の相談窓口である北沢地域障害者相談支援センター「ぽーときたざわ」がある。また、保健センターでも、障害に関する専門相談を受け付けている。

医療

医療機関、訪問看護等

地区内には、診療所が約３０箇所と医師会付属の初期救急診療所がある。ただし、総合病院はない。
区の保健医療福祉の拠点である保健医療福祉総合プラザ（うめとぴあ）がある。

子ども・教育	児童館	なし（松沢児童館と連携）
	その他、児童施設	サロントコトコ、こどものひろばパティオ、 publico(パブリコ)
	おでかけひろば	子育てステーション梅丘、おでかけひろば@あみーご
	保育施設	松原北保育園、松原保育園、まつばらけやき保育園本園、まつばらけやき保育園分園、梅丘至誠保育園、梅丘至誠パーチェ、にじいろ保育園松原、アスクバイリンガル保育園明大前
	幼稚園	日本女子体育大学付属みどり幼稚園
	新ＢＯＰ	松原小学校新BOP
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	区立松原小学校、区立松沢小学校、区立代田小学校
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	区立梅丘中学校、明治大学付属世田谷中学校・高等学校
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	都立光明学園（小学部、中学部、高等部）、明治大学付属世田谷中学校・高等学校、日本女子体育大学付属二階堂高等学校
	子どもに関するその他の事項	
	月に２回、地区の有志にて運営されている「世田谷子ども食堂・まつばらキッチン」を、高校生、明治大学等の学生、地域住民等の協力の下,松原ふれあいルームで開催されている。 ほかにも、不定期に飲食店や小売店がこども食堂を開催している。	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	児童相談所がある。	
公共施設	図書舘	なし
	地区会館、区民集会所など	松原地区会館

住まい・環境・防災

主な公園・緑道・広場	赤羽根公園、松原公園、松原つみき公園、弁天児童遊園、松原6－10広場

土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）

地区内の土地利用の約７５％は宅地である。甲州街道沿いにはマンションが立ち並び、各駅の商店街を抜けると戸建てを中心とする住宅街となっている。
羽根木公園に隣接しているため、公園へのアクセスは良好である。一方で、地区内には小さな公園や児童遊園があるだけで規模の大きな公園はない。そのため、みどり率は低い。

交通の便に関する事項（鉄道・道路）

公共交通機関は、縦横に伸びる京王線と井の頭線が明大前駅で交差し、南側には小田急線、西側には東急世田谷線が通っている。そのため、新宿や渋谷など都心へのアクセスは非常に良い。
京王線では、開かずの踏切の解消や安全性の向上を目指し、連続立体交差事業（高架式）が進められている。
幹線道路は、東西に甲州街道と赤堤通りが走っている。一方、南北に走る幹線道路はない。現在、まちの利便性を高め災害に強いまちづくりを進めるため、南北を貫く補助１５４号線の整備が進められている。
バス路線はない。

産業に関する事項（買物・商店街などを含む）

明大前、下高井戸、東松原の駅前に商店街があり、これらはすべて振興組合である。
明大前商店街は、連続立体交差事業や駅周辺の街づくり事業により、街が大きく変わろうとしている。
下高井戸商店街は、大型店から地元密着の小売店まで多種多様な店舗で構成されている。そのため、甲州街道の北側に居住する方も買い物に訪れるなど、商圏が広い。
東松原商店街は、この２つと比較すると規模こそ小さいが、地元に密着した歴史ある店舗が多い。

防災　→　各地区の地区防災計画を参照

地区課題解決の取組み

地区ビジョン
『地域・いきいき・支えあい（ふれあい松原）』 　地区活動を充実させて、住民同士のつながりを深める。また、高齢者の支えあい活動に取り組むことで、相互扶助の機運を高め、誰もが安心して元気に暮らせるまちを目指す。

課題、取組みの方向性
1.　地区活動の新たな担い手の確保 ＜課題＞①地区活動に参加する方が少ない。　②その結果、限られた方が複数の団体役員を務めており、かつ、高齢化している。 ＜取組みの方向性＞①地区の人材発掘・育成のための行事を開催し、その中で地域活動の楽しさをPRし、参加を促していく。 ②６５歳以上の転入者に、松原の社会資源の紹介やボランティアの誘いなど老後を豊かに暮らすためのガイドを渡し、活動への参加を促す。 ③事業への参加者や運営者にせたがやPayを配布することにより、若年層の地区活動への参加を促す。 ④「茶話やか松原」などの多世代交流ができる機会を充実させるほか、地域団体等と連携しながら、世代を超えた交流や地域活動への参加を促進する。
2.　高齢者等の在宅生活を支える ＜課題＞①介護者を地域で支援する取組みが十分でない。　②高齢者や介護者同士、交流する機会が少ない。③認知症に対する理解が不十分である。 ＜取組みの方向性〉①介護者の会を開催して討論する中で、苦労や知恵を共有し、孤立感を払拭する。 ②音楽会や体操、買い物ツアーなどを実施し、参加した高齢者や介護者同士が楽しみながら交流を深める機会を増やす。 ③地域住民（町会・自治会、民生委員等）と専門機関（介護サービス事業者等）による連携による見守りを強化し、地域で高齢者をサポートしていく。
3.　子育てしやすいまちづくり ＜課題＞子どもや子育て家庭の孤立、地域とのつながりが希薄化し、安心して過ごせる居場所が不足している。 ＜取組みの方向性＞ 松沢児童館をはじめとする近隣関係機関との連携を強化するとともに、子ども食堂を通じた子どもの居場所づくりや地域住民との交流を促進し、地域全体で子どもと子育て家庭を支える環境づくりを推進する。

参加と協働の地域づくりの取組み内容（参加と協働を基盤とした地区課題への取組み）	
①	【地区活動の新たな担い手の確保】地区共有の人材発掘について、料理教室等をはじめとする地区の各種事業や様々な機会を活用し、新たな人材確保に努めている。
②	【地区活動の新たな担い手の確保】　６５歳以上の転入者に、松原の社会資源の紹介やボランティアの誘いなど老後を豊かに暮らすための情報を掲載したガイドブックや広報紙をあんしんすこやかセンターが渡している。 また、世代を問わずボランティア人材の拡大に向け、地域活動入門講座（地区サポ講座）を社協が開催している。
③	【高齢者等の在宅生活を支える】　介護者同士が日ごろの苦労や想いを語り合う男性介護者の会を四者で連携し開催している。ここでは介護の知恵を共有し参加者の孤立感を払拭している。
④	【高齢者等の在宅生活を支える】　高齢者の孤立や寝たきりを防ぐために、民生委員が中心となって、町会、自治会ごとにふれあい松原（松原地区ぐるみ支え合う会）を三者が連携し支援している。音楽会や体操など高齢者に喜ばれるイベントを通して参加者の困りごと等を把握できるアウトリーチの場ともなっている。
⑤	【高齢者等の在宅生活を支える】　子どもから高齢者、障害を持った方など、対象を限定せず誰もが気軽に参加できる居場所を目的とし、音楽会や落語、健康測定やスマホ講座など参加しやすい内容で行う「茶話やか松原」及び「ミニ茶話やか松原」を五者で連携して開催している。
⑥	【高齢者等の在宅生活を支える】　松原地区在住の方々の交流と健康維持を目的に、週に２回、まちづくりセンター前の広場でラジオ体操を行っている。
⑦	【子育てしやすいまちづくり】　子育て中の母親同士の交流を深めることを目的に、松原1丁目の有志が中心となって開催する子育てサロンを支援している。
⑧	【子育てしやすいまちづくり】　子どもたちの孤食を防ぎ、安心して過ごせる居場所を提供することを目的に、子ども食堂（松原キッチン）を月に２回開催している。円滑に運営が行われるよう、四者で連携しながら支援を行っている。